

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

2, 4-ジクロロアニリンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－21日間

試験番号

5 B 4 9 1 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 204 「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 2, 4-ジクロロアニリン
- 2) 暴露方式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区,
0.10, 0.24, 0.57, 1.37, 3.23, および8.08mg/L (公比: 2.4)
助剤最高濃度: 80.8mg/L, 2-メキシタールおよびHCO-30使用, 助剤濃度等比
- 6) 試験液量： 36L/日 (24.75mL/min, 5.0L容ガラスビーカー使用)
- 7) 連数： 1 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 20尾/濃度区
- 9) 照明： 16時間明/8時間暗
- 10) 試験温度： 24±1℃
- 11) 試験液の分析： GC法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度： 試験区で設定濃度の±20%を越える分析結果があったため、以下の値は測定濃度の算術平均値を基に示した。
- 2) 7日間の半数致死濃度 (LC50)： 5.0mg/L (95%信頼区間: 3.2mg/L～7.1mg/L)
- 3) 14日間の半数致死濃度 (LC50)： 4.7mg/L (95%信頼区間: 3.2mg/L～7.1mg/L)
- 4) 21日間の半数致死濃度 (LC50)： 4.2mg/L (95%信頼区間: 3.2mg/L～7.1mg/L)
- 5) 21日間の最小致死濃度： 3.2mg/L

6) 21日間の最小作用濃度： 1.2mg/L

7) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC)： 0.50mg/L